

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(技術的能力)

□ についてご説明。

No.	審査項目	会合実施日	指摘事項	回答状況	資料No.	頁	回答内容
1	技術的能力(共通)	2015/10/13	予備品の確保、復旧等の作業における直営化に関する考えを説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.0.3 予備品等の確保	P1.0.3-8	補足1.2 直営訓練等を通じて復旧手順の整備や作業内用把握、技能訓練施設における分解点検・組立作業訓練など現場力向上について記載
2	技術的能力(共通)	2015/10/13	一部プラント操作(PCVベント等)について所長判断とすることについて号炉完結主義の観点を踏まえ説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.0.6手順概要	P1.0.6-6	2.3(1)判断者の明確化 手順書に従い運転員が実施する事故時のプラント対応の判断は、事故発生号炉の当直副長が行う。
3	技術的能力(共通)	2015/10/13	各種手順書の判断について、所長が判断する内容を明確にすること				
4	技術的能力(共通)	2015/10/13	所長の行う外部とのインターフェースを明確にすること				
5	技術的能力(共通)	2015/10/13	PDCAに対する評価の客観性について説明すること。JANSI(一般社団法人 原子力安全推進協会)がPDCAレビューをおこなう場合は、その詳細を説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.0.9教育訓練	P1.0.9-7	5.(2) ・評価指標をWANOの基準に即して作成していること、第3者レビューを受けている実績を追記。
6	技術的能力(共通)	2015/10/13	発電所対策本部(の責任者)及び本社対策本部・支援組織の判断・権限のデマケについて説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.0.10 体制	P1.0.10-2	1.(3) プラント対応の判断は当直副長、同時発災時には、発電所対策本部長が対応すべき優先順位の判断を行う旨説明
7	技術的能力(共通)	2015/10/13	同時発災時等、号機を超えた事象が発生した場合の判断について説明すること。				
8	技術的能力(共通)	2015/10/13	運転員の体制における、当直副長による操作員への操作指示/確認手順を説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.0.10 体制	P1.0.10-74	補足2 当直副長による操作員への操作指示/操作と確率的リスク評価手法が整合が取れていることを説明。
9	技術的能力(共通)	2015/10/13	特定の要員に負荷が集中しない体制であることを説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.0.10 体制	P1.0.10-7.8	2.(2) ・運転員、緊急時対策要員共に、役割を明確化し、必要な要員を確保していることを記載。
10	技術的能力(共通)	2015/10/13	1F事故の教訓・対策については事故当事者として、記載の充実を図ること	本日回答	資料1-2-2 1.0.12福島第一事故教訓	P1.0.12(全体) P1.0.12-13	福島第一事故の教訓とその対応について記載を追加。(表形式に修正) 項目毎に整理の上説明
11	技術的能力(共通)	2015/10/13	支援組織について、作業員が作業に専念できる体制になっていることを1F事故の教訓を踏まえどのように反映されたか明確にし、ロジスティクスに説明すること(物流、医	本日回答			
12	技術的能力(共通)	2015/8/27	事故から7日以降は外部の支援を期待できるが、7日後のRHR復旧の成立性について説明すること。	本日回答	資料1-2-2 1.0.15長期体制	P1.0.15-10~18	当社における格納容器の長期にわたる状態維持に係る体制について説明
13	技術的能力(共通)	-	【説明事項】 プラント停止中の緊急時対策要員の確保に関する考え方について	-	資料1-2-2 本文	P1.0-27	プラント停止中の緊急時対策要員の確保は6/7号炉運転中と同様の扱いである旨説明
14	技術的能力(手順)	2015/10/13	【技術的能力1.3】EOP不測事態「急速減圧」対応フロー(1.3-27頁)について、「減圧不可」に至る事態やその時の状況等考慮の上、フローについて再度説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.3 減圧	P1.3-15 P1.3-49.50	プラントの状況を踏まえた手順であることを説明するため、炉心損傷前の対応であるEOP対応フローに加え、炉心損傷後の減圧対応フロー・手順着手の判断基準を資料に追加した。
15	技術的能力(手順)	2015/10/13	【技術的能力1.3】確認するパラメータに対し確認すべき計器を明確にすること(メイン・複数で見えるもの、推定手段としての計器等)	本日回答	資料1-2-2 1.15 事故時の計装	P1.15-63~	添付資料1.15.3 技術的能力1.1~1.15の各手順に用いられるパラメータを計測する計器を表にまとめ、各パラメータを監視する目的に応じて重要監視パラメータ、有効監視パラメータ、補助パラメータに分類して整理した。
16	技術的能力(手順)	2015/7/14	直流電源喪失時の可搬バッテリー等の対策手順を技術的能力等(有効性評価)で説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.14 電源の確保	P1.15-17~	計測に必要な電源が喪失した場合の手順について整理した。 (常設のバッテリーによる給電、代替電源からの給電による電源確保、中央制御室での監視が不可能な場合の可搬型計測器による測定)
17	技術的能力(手順)	2015/10/13	【技術的能力1.3】資料構成について、フォルトツリーで分析し、対策を抽出し、個々の手順の成立性について、論じること。また、複数ある手順の平行実施、優先順位、有効性評価では解析上実施しないが実際は行う作業等を明確にし、これらの整合性を説明すること	本日回答	資料1-2-2 1.3 減圧	P1.3-45.46 P1.3-62	機能喪失原因対策分析(フォルトツリー)を資料に追加し、選定した対策による効果を確認するとともに、抽出した全ての手順について成立性を確認した。 また、手順の優先順位について再整理した。
18	技術的能力(手順)	2015/10/13	【技術的能力1.4】減圧指示プロセスについて、低圧代替注水系(常用)及び消火系または低圧代替注水系(可搬型)の注水準備確認後とすることについて再検討すること。また、その場合の「確認」の程度及び何が確認できたら減圧するのか明確にすること	本日回答	資料1-2-2 1.4 低圧時の注水	P1.4-15	1.4.2.1(1)a.低圧代替注水 低圧代替注水系(常設)2台、又は低圧代替注水系2系以上の起動及び注水ラインの系統構成が完了した時点で逃がし安全弁による原子炉減圧を実施することを記載。